

平成28年度  
(第24期)

# 事業計画

自 平成28年4月 1日  
至 平成29年3月31日



公益財団法人 とかち財団

## 平成28年度事業計画 目次

I	基本方針	-----	1
II	平成28年度事業計画	-----	2

## I 基本方針

北海道経済は、全体として雇用情勢の改善による個人消費の持ち直しや民間設備投資の増加により、景気は緩やかに回復基調が続いているものの、少子高齢化や人口減少による地域経済の疲弊から地域ごとの景気回復にばらつきがみられるなど、景気回復の地域経済への波及効果は、いまだに見えない状況にある。

十勝管内を対象とした景気動向調査では、「十勝の経済は、雇用情勢の改善による個人消費の持ち直しや民間設備投資の増加により、穏やかに回復しつつあるものの、事業者からは来期の業況判断は悪くなる見通しとの意見も多く見受けられる。現在、地方創生に向けた官民の積極的な取り組みが進められており、今後の雇用・所得環境、消費拡大などに波及することを期待している。」と報告されている。

そのような中、国は地域の課題を解決するため、各地域がそれぞれの特徴を生かした自律的で持続的な社会を創生できるよう、まち・ひと・しごと創生本部を設置し、国を挙げて地方創生の取り組みを本格化するとともに、十勝管内各自治体においても知恵と力を結集し、地域課題に取り組むための総合戦略の策定を進めているところである。

こうした状況を踏まえ、当財団では、「とち財団産業活性化ビジョン」に掲げる「ものづくり支援」および「地域連携支援」の2本の柱に基づき、地域や関係機関と連携した十勝管内の課題やニーズの把握、専門技術や知識を積極的に活用した支援や企業等が抱える問題解決に取り組むほか、十勝産農畜水産物の高付加価値化や販路拡大に向けた事業の実施、強い産業基盤を構築するための人材育成に関する事業、地域政策に合わせた支援事業を実施する。

法人運営にあたっては、公益財団法人認定に関する法律に基づく運営を行うほか、今後の財団の基礎となる次期活性化ビジョンの策定、職員が意欲を持って業務に取り組むための職場づくり、施設の維持管理と管理経費の削減、基本財産の管理と財務の健全化に努める。さらに、把握した地域の課題・ニーズを基に、専門性を生かした、より主体的な事業展開を図っていく。

## Ⅱ 平成28年度事業計画

### 1 食産業支援事業【公益目的事業1】

#### (1) 試験研究事業

食品加工に関する地域資源の活用や食に関する商品の販売促進に向けた評価を行うため、地域企業等と連携した課題を選定し試験研究を実施する。また、国等の情報を的確に捉え、外部資金を獲得し試験研究の実施を目指す。

- ・海外展開を見据えた製品の賞味期限延長の検討
- ・小豆由来の多糖類に関する研究
- ・ナチュラルチーズの賞味期限設定に関する評価試験
- ・帯広市の水の客観的評価

#### (2) 技術相談・指導事業

企業等が抱える新製品・新技術開発および生産現場における技術的課題解決のため、当財団職員の専門技術や知識を活用した相談対応、ならびに必要なより当財団職員を生産現場に派遣し助言・指導等を実施する。また、市町村や関係機関等からの要請に応じ、食品加工技術の専門家として当財団職員を派遣し、専門技術や知識の普及、商品開発支援を実施する。

#### (3) 情報提供事業

研究開発事例や技術相談対応などの技術支援成果を発表するとともに、他機関等の主催行事に参加し、当財団の研究事業等のPRを行う。

- ・ホームページの運用
- ・成果発表会の実施

#### (4) 人材養成事業

食品加工技術者の養成・資質向上を図るため、食品加工に必要な微生物検査実技等の実務に関する講習会等を開催する。また、企業等からの研修生を受け入れる等食品加工技術者への技術習得を支援する。

#### (5) 技術交流事業

十勝管内で食品加工技術、新製品開発、品質管理等に携わる経営者や技術者の交流の場である「十勝圏地域食品加工技術者の会」を開催する。また、当財団が実施・参画する事業において、食材開発や事業化の検討、技術情報の提供、加工食品の評価・検査等を実施する。

#### (6) 検査分析事業

食品企業等からの依頼による食品の成分分析や理化学測定、微生物検査等を実施し、その試験分析結果について、公設試験研究機関として成績書を発行する。

#### (7) 指定管理業務

北海道から「北海道立十勝圏地域食品加工技術センター」の指定管理者の指定を受け、施設の適切な保守管理を行うとともに、施設等の情報提供や設備機器の利用促進活動を行い、利用者へのサービス向上を図る。

## 2 ものづくり産業支援事業【公益目的事業2】

### (1) 試験研究事業

十勝管内の企業ニーズに応じた研究テーマを設定し、製品開発等に取り組むほか、外部資金を活用した技術開発支援等を実施する。また、国等の情報を的確に捉え、外部資金を獲得し試験研究の実施を目指す。

- ・低コストな血乳検査システムの開発
- ・バウムクーヘンオーブンの開発と販路開拓
- ・低コストな自動操舵システムの開発

### (2) 技術指導・企業相談事業

企業等が抱える技術的課題やニーズ等を収集し、その課題解決を図るため、財団が有する技術やネットワーク等を活用した「ものづくり支援」や、必要により当財団職員を生産現場に派遣し助言・指導等を実施する。また、知的財産のほか、経営や創業等に関する相談に対応するとともに、関係機関と相談会を実施する。

### (3) 情報提供事業

研究成果や技術情報、セミナー・イベント開催、施設・機器利用案内等企业経営をサポートする情報を広く提供し、中小企業者等の経営を総合支援する。

- ・ホームページの運用
- ・メールマガジン「十勝産業振興センターだより」の配信
- ・成果発表会の実施

### (4) 人材育成事業

十勝管内技術者の技術力向上を目的に、3D-CAD および 3D プリンターを活用した技術講習会を開催する。

#### (5) 検査分析事業

企業等からの依頼による鉄筋やコンクリートの強度試験等に関する公的試験機関としての成績書の発行や製品開発等に必要な設備機器の利用促進を図る。また、パークゴルフ用品の国内唯一の試験機関として公的な成績書を発行する。

#### (6) 産学官連携事業

ものづくりを中心とした企業支援成果の紹介・普及の機会として、札幌圏の「ビジネス EXPO」に加え、新たに首都圏の「FOOMA JAPAN」に出展するとともに、関連団体等との交流促進を図る。また、産学官連携等を活用した事業化支援に関する情報収集を積極的に行う。

#### (7) その他

十勝産業振興センターを積極的に PR し、利用促進を図る。

### 3 地域連携支援事業【公益目的事業3】

#### (1) 開発商品等の PR および販路拡大

十勝産の農畜水産物ならびに加工品の販路拡大を目的として、「アグリフード EXPO」と「フーデックスジャパン」へ継続して出展するとともに、地域で実施されるイベントに参画・協力し、販売 PR 活動を行う。

#### (2) 地域連携および人的ネットワーク構築

十勝圏の企業・関係機関等の人的・物的・知的交流機会の拡大を図るため、ヒューマンネット十勝を4回開催する。

#### (3) 地域ブランドの形成および確立

十勝産品の付加価値向上と信頼性を高めることで、農業・食品製造業・関連産業の振興を図り、地域全体の活力向上に資することを目的に、十勝ブランド認証機構の運営を支援し、事業推進・販路拡大等を図る。